

2021年12月17日

各 位

会 社 名 株式会社 ビジネス・ブレイクスルー
 代表者名 代表取締役社長 柴田 巖
 (コード番号 2464 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 徳永 裕司
 (TEL. 03-5860-5530)

新市場区分「プライム市場」選択申請及び
 新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書提出のお知らせ

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日開催の取締役会において、プライム市場を選択することを決議し、申請書を提出いたしました。併せて、当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を一部満たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており「流通株式時価総額」、「1日平均売買代金」については基準を満たしておりません。

当社は、「流通株式時価総額」、「1日平均売買代金」に関し、現在策定中にあり2022年5月の発表を予定している『中期経営計画2022-24』の最終年度となる2025年までに上場維持基準を満たすために各種取組を進めてまいります。

	流通株式数 (単位)	流通株式時価 総額 (億円)	流通株式比率 (%)	1日平均売買 代金 (億円)
当社の状況 (移行基準日時点)	73,850	32.78億	51.7%	0.07億円
上場維持基準	20,000単位	100億円	35%	0.2億円
計画書に記載の項目		○		○

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

プライム市場上場基準の充足に向けた「流通株式時価総額」の向上、「1日平均売買代金」の増加にかかる取組の基本方針、課題及び取組内容については、添付の『新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書』に記載のとおりであります。

※ 本資料及び添付資料に記載されている情報は、本資料作成時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、外部環境の変化等による様々な要因の変化により、記載内容と異なる可能性があります。

以 上

リカレント教育の
BBT

新市場区分の上場維持基準の 適合に向けた計画書

2021年12月17日



株式会社 ビジネス・ブレイクスルー

証券コード 2464

目次

■ 新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間 … 4
2. 上場維持基準の適合に向けた基本方針 … 5
3. 課題及び取組 … 6
4. サマリ … 9

■ 中期経営計画2022-24(概要)

1. 会社概要・市場環境 … 11
2. 中期経営計画（概要）サマリ … 15
3. DX計画／SDGsの取組み … 19

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間	… 4
2. 上場維持基準の適合に向けた基本方針	… 5
3. 課題及び取組	… 6
(1) 中期経営計画推進による業績向上	… 7
(2) IRの強化	… 8
4. サマリ	… 9

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

【上場維持基準の適合状況】

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式時価総額、1日平均売買代金については基準を充たしておりません。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金
当社の状況 (移行基準日時点)	3,110 人	73,850 単位	32.78 億円	51.7 %	0.07 億円
上場維持基準	—	20,000 単位	100 億円	35 %	0.2 億円
計画書に記載の項目	—	—	○	—	○

※ 当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

【計画期間】

2025年3月期までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

2. 上場維持基準の適合に向けた基本方針

当社は、2023年3月期から2025年3月期までの3カ年を期間とする「中期経営計画2022-24」を2022年5月の発表に向けて策定中であります。

「中期経営計画2022-24」では最終年度である2025年3月期において、下記の達成を目指すものとしております。

	2025年3月期	(参考) 2021年3月期
売上高	100.0億円	58.8億円
営業利益	10.5億円	2.0億円
当期純利益	7.0億円	1.0億円

また、2025年3月期以降にも続く当社グループの持続的な成長とDX化の推進、SDGs関連施策の推進、コーポレートガバナンスの充実等に取り組むことにより、企業価値を継続的に向上することでプライム市場上場基準の適合を目指してまいります。

① 「流通株式時価総額」の向上に対する課題と取組

株価が低位に推移していることが基準を充たしていない主要要因、課題と認識しており、企業価値向上に向けた以下の施策に取り組んでまいります。

(1) 中期経営計画推進による業績向上

(2) IRの強化

近い将来において、大株主より持分の一部売却（5%程度）に応じる旨の回答を受けており、立会外分売、売出等により更なる流動性を高めるなど、売買代金の増加につなげてまいります。

② 「1日平均売買代金」向上に対する取り組み

「流通株式時価総額」と同様に、株価が低位に推移していることが基準を充たしていない主要要因、課題と認識しており、中期経営計画における各年度の業績計画を着実に達成し続けることによる企業価値の向上とそれに伴う株価の向上、また、出来高の増加施策にも資するIRの強化の両輪で取り組んでまいります。

なお、当社の上場維持基準の適合状況については、算定期間における1日平均売買代金は、0.07億円となり基準の0.2億円を充足しておりませんでした。2021年7月～9月の3か月間における1日平均売買代金は、0.2億円となっております。

3. 課題及び取組 (1) 中期経営計画推進による業績向上

「中期経営計画2022-24」において策定する事業戦略・展開を推進してまいります。

以下の5つを重点強化領域とし、各事業の規模と収益性の向上を図ってまいります。

- ① UNIVERSITY事業系
- ② 法人向け人材育成事業系
- ③ 英語教育事業系
- ④ インターナショナルスクール事業系
- ⑤ ITマネジメント事業系

また、当社の独自開発の遠隔教育プラットフォームである「AirCampus®」、
「AirSearch」においては、AIによる受講状況の判定機能により受講サポートを強化するDX化や、映像講義画面での自動翻訳・字幕機能を実装し、聴覚障害者にも健常者と同様の教育機会を提供するSDGs施策等にも取り組んでおり、一層の推進してまいります。

IR施策につきましては、2021年度よりIR資料の一部（決算説明会資料）の翻訳・掲載を開始しておりますが、今後は以下の施策により、企業・事業活動の認知度の向上に尽力いたします。

- 海外投資家向けの英語サイトの開設
- DX、SDGs施策に関する情報発信の充実

各インデック指数に採用されるべくDX銘柄制度と連携する経済産業省「DX認定」の取得を目指すとともに、当社が創業以来、様々な遠隔手法によるリカレント教育に取り組むなか、デジタル・リカレント教育の先駆者として、多様かつ先進的な「教育×DX」を世に提供する「DX-Excellent」企業であり続けてまいります。

これらの取り組みを通じて、株式市場において適正な評価を得るとともに、出来高を増加させ、2025年において上場維持基準への達成を実現してまいります。

「中期経営計画2022-24」の最終年度である2025年3月期の連結業績計画は、前述の通り、売上高100.0億円、営業利益10.5億円、当期純利益7.0億円を目指しております。

移行基準日時点での流通株式比率を前提に、2025年3月期の計画値とヒストリカル平均/中央値のPERをもとに流通時価総額を試算すると、流通株式時価総額は、102.0億円となります。

「中期経営計画2022-24」を確実に達成することで、企業価値を向上させ、2025年において上場維持基準への達成を実現してまいります。

■ 2025年連結業績計画に基づく流通時価総額の推計

【当期純利益】		【PER】		【流通株式比率】		【流通株式時価総額】
7.0億円	×	25倍 ※1	×	58.3% ※2	=	102.0億円

※1. ヒストリカル平均/中央値

※2. 当社試算：2021年9月末株式状況 + 大株主持分一部売却（約5%）予定

中期経営計画2022-24（概要）

1.会社概要・市場環境	… 11
2.中期経営計画（概要）サマリ	… 15
3.DX計画／SDGsの取組	… 19

名 称 株式会社 ビジネス・ブレイクスルー (Business Breakthrough, Inc.)

代表取締役 会長 大前 研一 、 社長 柴田 巖

設 立 1998年 4月

資 本 金 18億18百万円 (2021年 3月末)

上 場 2005年 東証マザーズ市場上場
2016年 東証一部市場変更



代表取締役会長
大前 研一



代表取締役社長
柴田 巖

事業内容 グローバルに活躍する人材を育成する為のあらゆる年齢層に対し
生涯にわたるリカレント教育を提供 (対象年齢：1歳からビジネスパーソンまで)

● **マネジメント教育を通じた人材開発**

- グローバルに通用するビジネスリーダーの育成

■ **教育機関の運営：幼稚園、初等、中等、高等、大学、大学院**

■ **ビジネス・ブレイクスルー大学 (文部科学省認可) の運営**

- ・ 経営大学院 (MBA) 経営管理専攻
- ・ 経営学部 (経営学士) グローバル経営学科 / ITソリューション学科

■ **アオバジャパン・インターナショナルスクール (国際バカロレア (DP、MYP、PYP)、CIS、NEASCの認証校) の運営**

■ **アオバジャパン・バイリンガルプリスクール (国際バカロレア (PYP) の認証校 (晴海・芝浦・早稲田・三鷹・中野・下目黒)) の運営**

■ **サマーヒルインターナショナルスクール (国際バカロレア (PYP) の認証校) の運営**

■ **ムサシインターナショナルスクール・トウキョウ (ケンブリッジ大学国際教育機構認定校) の運営**

Mission

「世界で活躍するリーダーの育成」

Vision

Life-Time Empowerment (LTE)
“ライフタイム・エンパワーメント”
(生涯活力の源泉)

変革する時代に対応した新しいコンテンツを常に発信し、
1歳以上のすべての年齢層に、生涯にわたる学びを提供

幼少期～幼稚園～初等部～中等部～高等部

プラットフォームサービス事業

生徒数日本最大規模のインターナショナルスクールグループで、日本で唯一、国際バカロレア (IB)、ケンブリッジの2大国際認定カリキュラムを取得している

大学～大学院～ビジネスパーソン

リカレント教育事業

時間や場所に縛られない遠隔教育システムで、新人からCEOまで幅広い層に高品質なカリキュラムを提供
BBT大学、大学院では実践的なビジネス教育を提供

幼児期から高校までを対象に、アオバジャパン・インターナショナルスクール、および、アオバジャパン・バイリンガルプリスクール等の運営、ブレンド型教育の企画・運営を行っています。

プラットフォーム
サービス



- アオバジャパン・インターナショナルスクール (AJIS) の運営 [初等部・中等部・高等部]*1
- アオバジャパン・バイリンガルプリスクール (AJB) の運営*2
- サマーヒルインターナショナルスクール (SH) の運営*3

※ 連結子会社である㈱アオバインターナショナルエデュケーションシステムズが運営しています。

Real
リアル (集合) 教育

保有コンテンツと遠隔教育システムをベースに商品化された目的別プログラムを、インターネット等を活用して提供します。

リカレント教育



- ビジネス・ブレイクスルー (BBT) 大学 (文部科学省認可) の運営
 - BBT大学経営学部
 - BBT大学大学院経営学研究科 [MBA]
- ポンド大学ビジネススクールBBT MBA [海外MBA]
- 起業家養成、企業研修、経営者研修、法人向け人材開発ソリューション

Online
オンライン (遠隔) 教育

Blending
ブレンド (集合+遠隔) 教育



- ビジネス・ブレイクスルーチャンネル
- BBTオンライン英会話
- ABS ・ 起業家養成

2019年 5月

MIST
MUSASHI INTERNATIONAL SCHOOL TOKYO

ムサシインターナショナルスクール・トウキョウ (MIST) の運営 (ケンブリッジ大学 国際教育機構認定校)

2019年 7月

ITpreneurs
Effective Learning Solutions

ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック (ITPJ)
・ITマネジメントスキルの研修、教材開発

2021年 5月

HATCHLINK jr.
ハッチリンクジュニア

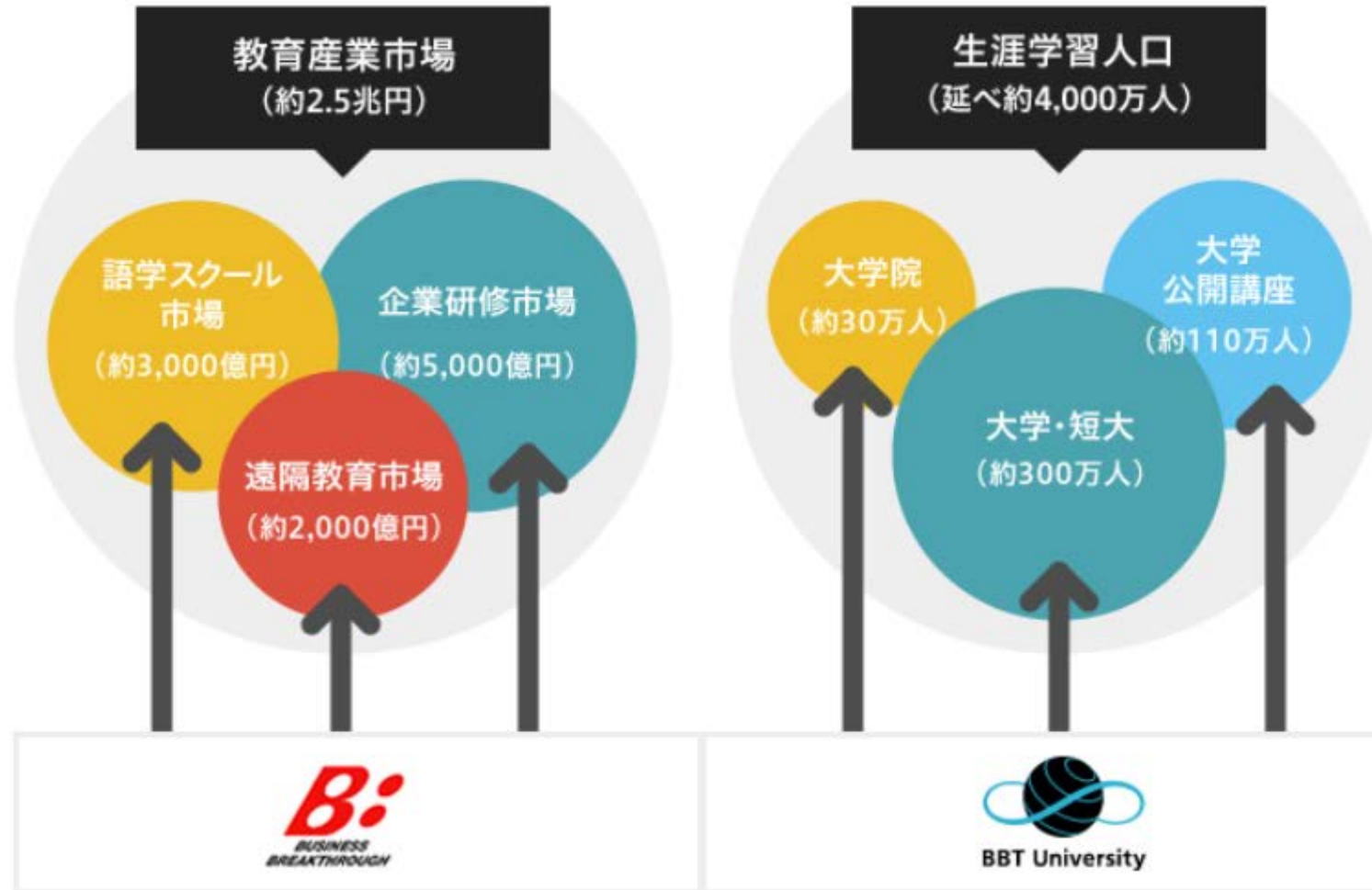
ブレンド型ジャパン
・子供向けオンライン英会話スクール「ハッチリンクジュニア」

2021年 11月

Quint

日本クイント (QJ)
・ITマネジメントスキルの研修、ITマネジメント・コンサルティング

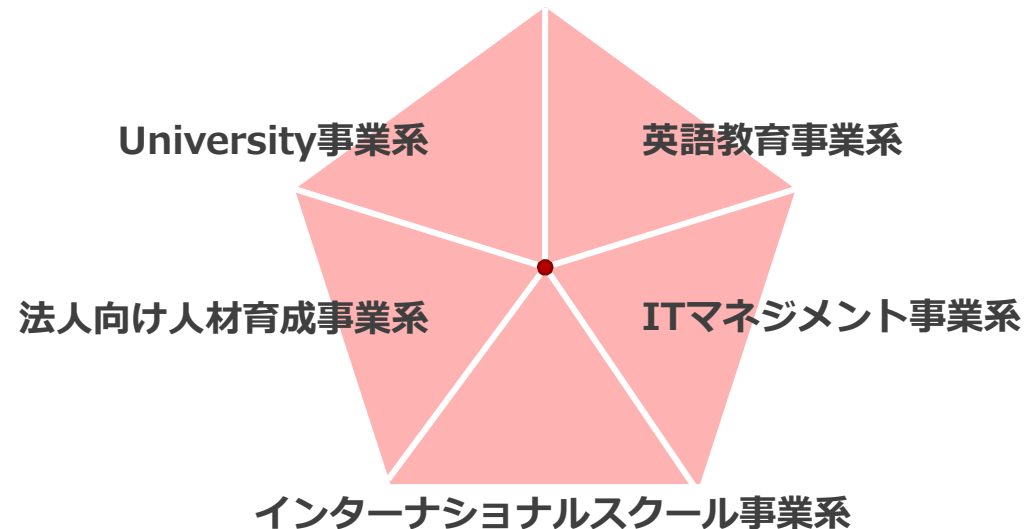
※ Little Angels学園(株)は2021年1月1日付で(株)Musashi International Educationに商号を変更し、「リトルエンジェルス・インターナショナルスクール (LAIS)」は「ムサシインターナショナルスクール・トウキョウ (MIST)」に名称を変更いたしました



	前期実績	今期業績予想	『中期経営計画2022-24』
	2021年3月期	2022年3月期	2025年3月期
売上高	58.8億円	68.3億円	100.0億円
営業利益	2.0億円	3.1億円	10.5億円
当期純利益	1.0億円	1.2億円	7.0億円

『中期経営計画2022-24』

重点強化領域



University事業系

- 売上高：14.2億円（21年度計画比：140%）
- 日本一ダイバーシティに富む在校生集団の強みを更に強化。AI等を活用した1to1学習支援を提供し、学習効果と満足度を飛躍的に向上
- ポストコロナ社会が求める最も最新かつ実践的な経営戦略を、経営者から学ぶオンライン・ビジネススクールとしての質（カリキュラム、教員組織、学習効果）を更に強化。法人顧客との提携を強化
（国内唯一の株式会社立経営大学院：BBT大学大学院、国際認証〔AACSB,EQUIS〕：BOND-BBT MBA、2つのMBAを運営）

法人向け人材育成事業系

- 売上高：22.2億円（21年度計画比：190%）
- 顧客数を2倍に拡大することで、法人研修市場でのリーディングカンパニーを目指す
- 顧客数を拡大するために、デジタルマーケティングの強化による認知度向上／顧客接点強化、営業生産性改善による新規獲得活動強化を実施していく

英語教育事業系

- 売上高：12.7億円（21年度計画比：260%）
- 語学系オンライン教育システムのフルリニューアル
- 高価格帯市場に特化した英語習得プログラム開発への投資の強化。海外の優秀な講師の確保と研修強化による指導体制の品質・価格競争力の両面での差別化の徹底

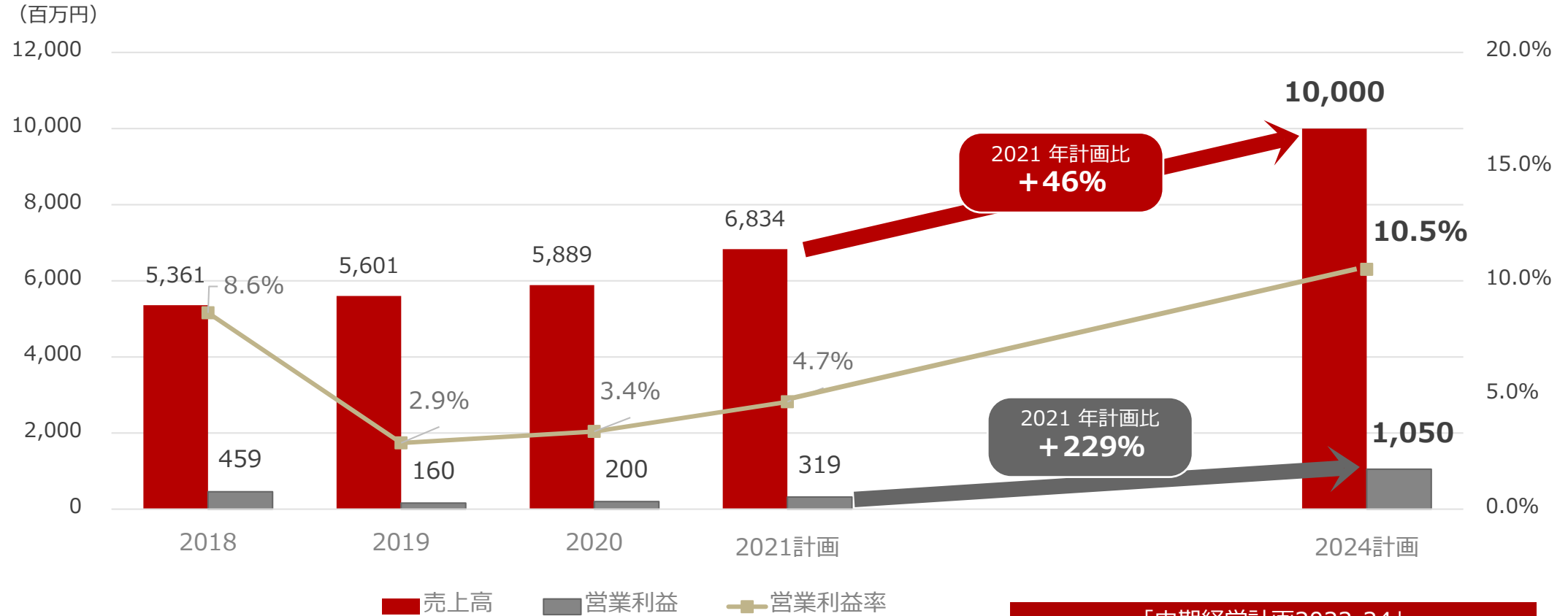
インターナショナルスクール事業系

- 売上高：45.0億円（21年度計画比：135%）
- 各拠点（幼児キャンパス）から初等部への進学強化（顧客のライフサイクルの長期化）
- サテライトキャンパスの継続的な拡張、中高等部門のキャンパス新設による定員数の大幅な増強
- ポストコロナ時代を見据えた物理的拡大とデジタルな拡大の両軸経営の強化

ITマネジメント事業系

- 売上高：10.0億円（21年度計画比：300%）
- DX系及び実践系のコンテンツの拡充
- 講師育成プログラムを通じて業界の経験者・講師陣との提携によるリソースプール拡大
- IT企業以外の業種への提案強化のためにグループ間での営業連携を強化

2025年3月期：売上高100.0億円、営業利益10.5億円、当期純利益7.0億円を目指す。



「中期経営計画2022-24」

DX計画

- AI等の活用による更なる教育DX化の推進

①受講生向けDX

- 受講履歴データを機械学習させ、受講生の進捗、嗜好にあわせた学習コンテンツをAIが自動推奨
- AI等のDX技術を積極活用し、新サービス、サービスラインナップの拡大を図る

②社内向けDX

- 受講ビッグデータを機械学習して受講の順調度を分析するAIの活用による学びの継続を支援
- 過去のSFA（営業支援システム）商談記録を機械学習させ、進行案件の可視化と成約精度の向上を図る

SDGsの取組み

- 全BBTグループを通じてSDGsの取組みを担う人材の輩出へ
『教育』×『DX』により、SDGs/ESGの課題に取り組む

AirCampus®のセキュリティ：本人確認と出席確認



本人確認

AirCampusは生体顔認証による本人認証が可能となっております。

照合用の顔情報登録は、写真とWebカメラ撮影に対応。

顔認証によりなりすまし受講を防ぐことができます。

デバイス付属のカメラがあれば追加機材は不要なため、低コスト。

学習期間中であれば試験前、受講前等のタイミングで本人確認を実施可能。



出席確認

講義への出席確認は、出席条件にあわせ、3つのレベルから設定することができます。

- ①低 講義を聞いたら出席
- ②中 講義を最後まで再生したら出席
- ③高 ②+チャレンジ&レスポンス

AirCampusでは講義中の再生位置と再生回数を詳細に記録しており、間引き受講の対策を行っています。

最高レベルの出席確認では講義中にランダムに出現するチャレンジ&レスポンスへの応答が求められます。

なお、①～③の出席条件に理解度テスト合格を付加することも可能です。

日米特許

バリアフリー AirCampus®の多言語字幕 自動生成機能



自動音声認識字幕生成

日本語音声と英語音声の自動音声認識によって自動的に文字起こしを行い、時間データと合成された字幕を生成することが出来ます。



自動翻訳字幕生成

音声認識によって生成された字幕を自動翻訳することで主要14言語の字幕を自動的に生成することが出来ます。

対応言語

英語、日本語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語簡体字、中国語繁体字、ポルトガル語、ロシア語、アラビア語、ヒンドゥー語、韓国語、ベトナム語

AirSearchによるおすすめ講座

おすすめの講座



世界を読み解く宗教入門 01
宗教を通じて世界を知る



戦略的データサイエンス入門 06
データ分析プレゼンテーション術



大前研一ライブ 1045
< 政 治 >10月に自殺した人 女性20代と40代が去年の同時期より2倍以上に
< 経 済 >NYダウ平均株価 史上初の3.



With/Afterコロナ時代の生産性向上策 07
電子契約サービス「クラウドサイン」を活用した生産性向上策
講師：内田陽介（弁護士ドットコム株式会社）

コンテンツの受講履歴データを回帰型ニューラルネットワークモデルを用いてリアルタイムに機械学習。

受講生の視聴履歴からそれぞれの受講生の嗜好に合わせたおすすめのコンテンツをAIが提示

Mission









「世界で活躍するリーダーの育成」

～ 全BBTグループを通じてSDGsの取組みを担う人材を輩出 ～

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



BBTグループにおけるSDGs関連の具体的取組

SDGs項目 (ESG)	BBTグループの具体的取組	対象事業等
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p> <p>(S)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「AirCampus®」によるオンライン教育 「AirCampus®」字幕機能、14言語の翻訳機能実装しバリアフリーに対応 100%オンラインBBT大学／大学院 AJIS 高等部「Online GLD Program」 	<p>○全グループ</p> <p>① UNIVERSITY事業系</p> <p>② 法人向け人材育成事業系</p> <p>③ 英語教育事業系</p> <p>④ インターナショナルスクール事業系</p> <p>⑤ ITマネジメント事業系</p>
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>  <p>8 働きがいも経済成長も</p>  <p>12 つくる責任つかう責任</p> <p>(E) (S) (S)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「AirCampus®」によるオンライン教育 リモートワークの整備 環境省「グッドライフアワード」事業受託 	<p>○BBT</p>
 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>(E) (S)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「AirCampus®」によるオンライン教育 修了生向け起業支援プログラム「SPOF」 BBT大学地方創生カレッジ 	<p>○全グループ</p> <p>① UNIVERSITY事業系</p> <p>○BBT</p>
 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>  <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>(G) (S)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文科省「国際バカロレアに関する国内推進体制の整備」事業受託 「BBTオンライン英会話」、「ハッチリンクジュニア」 「Apollo Project」：「A-MAP」カリキュラム監修 ガバナンスの充実：独立役員1／3を充足 	<p>④ インターナショナルスクール事業系</p> <p>③ 英語教育事業系</p> <p>① UNIVERSITY事業系</p> <p>○全グループ</p>



<注意事項>

本資料の内容及び記載された情報には、当社の将来に関する見通しや業績、計画に基づく予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、不確実要素を含み、資料作成時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社の判断で作成されたものであり、リスクや不確実性を含んでおります。今後、外部環境の変化等による様々な要因によって記載内容と大きく異なる可能性があり、その実現・達成を約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料のいかなる部分も電子的または、機械的な方法を問わず、無断で複製、転送を行わないようお願いいたします。